

平成 30 年 3 月 14 日
気 象 庁

3月23日は世界気象デー

～今年のテーマは「気象・気候への適切な備え」
“Weather-ready, climate-smart”～

世界気象機関（WMO）は、1950年（昭和25年）3月23日に世界気象機関条約が発効したことを記念し、毎年3月23日を世界気象デーとしてキャンペーンテーマを設け、気象業務への国際的な理解の促進に努めています。

今年のテーマは「気象・気候への適切な備え※」です。

※原文は“Weather-ready, climate-smart”

将来にわたって世界の人口が増え続けると予想されている一方で、地球温暖化の影響により大雨、干ばつ、熱波、寒波といった極端な気象現象の規模と発生頻度が増大すると予測されており、私たちはこれまで以上に気象に備え、気候変動に対応する必要があります。

WMOと同機関に加盟する各国の気象機関は、気象や気候変動によるリスクから、生命、暮らし及び財産を守ることを最重要課題の一つとし、より強靱な社会の構築に貢献するよう、日々の天気予報から長期的な気候予測にわたるサービスの普及に取り組んでいます。

日本においても、近年、雨の降り方が局地化・集中化・激甚化しており、社会全体で災害に立ち向かう防災意識社会を支えるため、気象庁は、防災情報の充実・強化や関係機関との連携等を通じた普及・啓発活動、及び気象データの利用促進等に取り組んでいます。気象庁は、今後も、WMOや各国気象機関、国内の関係省庁・機関と協力しながら、引き続き防災や気候変動対策等の課題に取り組んで参ります。

WMOはこのキャンペーンに関するウェブページを公開しています。

<https://public.wmo.int/en/resources/world-meteorological-day/wmd-2018>

世界気象機関 (World Meteorological Organization : WMO) の概要

設立目的 : 気象業務に関する国際的な調整・標準化・改善や、
気象情報の交換促進

設立日 : 1950 年 (昭和 25 年) 3 月 23 日

事務局所在地 : スイス・ジュネーブ

加盟構成員 : 185 か国・6 領域
(我が国は 1953 年 (昭和 28 年) に加盟)

ホームページ : <https://public.wmo.int/en>



WMO 事務局 (スイス・ジュネーブ)

問合せ先 : 総務部企画課国際室 担当 田中

電話 03-3212-8341 (内線 2267) FAX 03-3211-2032